

# 電動の農業用追従ロボットによる 農業の省力化・軽労化

温室効果ガス

農薬

肥料

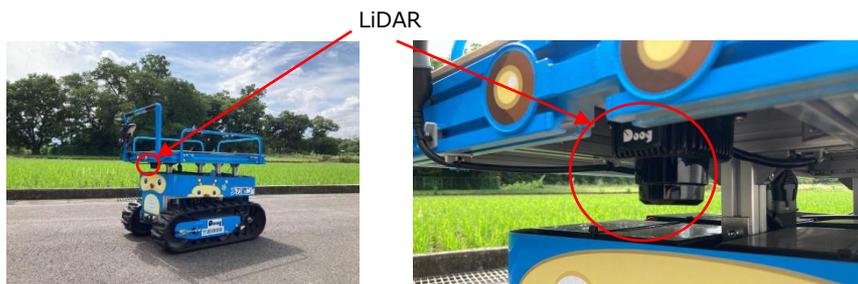
有機農業

その他  
(労働生産性)

生産 品目：全ての作物

## 技術の概要

LiDAR（レーザーを用いたレーダー）を利用した小型電動追従ロボットは、追従、リモコン、自動運転の3種類の走行制御があり、運転はボタン一つで誰でも簡単に操作が可能である。また、クローラ式であらゆる農地における走破性が高く、様々な農業現場で農作業の補助に利用でき、電動化を通して農作業のカーボンニュートラル化に貢献できる。



## 効果

### ◎ 電動化による温室効果ガス排出削減

電動化により温室効果ガスの排出削減が期待される。

### ◎ 農業現場における労働力の不足をロボットで代替

作業者とロボットの協働作業により、農作業を軽労化する。また、ロボットによる自律作業を行うことで省力化が期待できる。

## ● 追従運転モード・自動運転モードの活用

追従モードにおける収穫作業では、肩掛けの収穫かごから解放され、追従してくるロボットに積んだコンテナに積み込める。

また、自動運転モードにおける収穫作業では、決められた経路を覚えさせることで、収穫物を自動でトラックまで運搬できる。



## 導入の留意点

### ・ 過積載での斜面走行時に転倒の可能性

急傾斜や凹凸の激しい路面においては、本体への重量物の積載は避け、荷車等に積載してけん引する必要がある。

## その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

### ● 価格帯

- ・ 250万円程度

### ● 改良・普及の状況

- ・ 走行制御プログラムは随時更新。マーケティングモデルを10台程度販売。

## 関連情報

① YouTubeNAROチャンネル：農業用追従ロボット紹介動画（令和4年）

② Youtube：農業用追従ロボットの導入事例（リンゴ収穫）（令和5年）

